

製品仕様

品名	アルケリス	
品番	ar001-S	ar001-M
装着可能身長※	145cm ～ 165cm	160cm ～ 185cm
許容荷重	65kg まで	80kg まで
寸法（片足）	17.5cm×28cm×71.5cm	17.5cm×28cm×78.5cm
重量（片足）	2.3kg	2.7kg

※アジャスト機能により、身長に合わせて調節可能
※専用スタンド付属



archelis公式サイト

<http://www.archelis.com>

アルケリス 検索

代理店（お問い合わせ先）

仕様および外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。
製品カラーは、撮影・印刷インキの関係で実際の色と異なって見えることがあります。

特許出願中

Made in JAPAN
ar0616

アルケリス株式会社

GOOD DESIGN AWARD 2018
BEST 100

archelis

世界から
立ち仕事の
つらさをなくす



for Medical

医師の疲労を大幅に軽減し、 高いパフォーマンスを引き出す。

立ち姿勢で身体を支えることで、
長時間の手術による身体の疲労を大幅に軽減します。
スネとモモで体重を分散して支えることで、
体幹が安定し高いパフォーマンスを引き出します。



特徴

1. 装着したまま 自由に歩ける

高いフィット感と左右にセパレートした構造により、
装着したまま自由に歩くことができます。「歩く」と「座る」を繰り返し好きな場所で行うことができます。



歩く

座る

特徴

2. 電源不要

電源を使用していないため、他の医療機器への電波干渉の心配がありません。充電の必要がなく、安心していつでも使用することができます。



特徴

3.

簡単装着

一人で足、スネ、モモの3点のベルトを止めるだけで、すぐに使用を開始できます。

01



かかとを合わせて
足部分をベルトで固定します

02



スネ部分を
ベルトで固定します

03



モモ部分を
ベルトで固定します

archelis
| アルケリス |

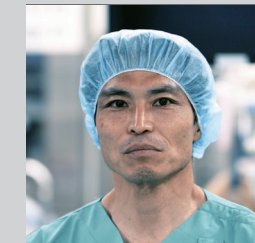
近年、医療技術の進化にはめざましいものがあります。腹腔鏡下手術も高度に進化した医療技術の一つです。

腹腔鏡下手術は患者にとって身体的負担を大幅に下げ一方、医師ならびに医療スタッフは長時間の立ち姿勢で手術をしなければならず、腰や足への負担が増加しているという課題があります。

そのような中、椅子に座って手術を行えない現状として次の点があげられます。手術室の環境は立ち姿勢を前提に設計されていること。医師は手術中、治療箇所や内容から立ち位置を変える場合があること。また、床には医療機器のコードなどが横たわる中、複数人が連携して手術を行うため、椅子を置くスペースが確保できないこと。

これらの手術環境の現状を踏まえ、医師ならびに医療スタッフの長時間の立ち姿勢による身体的負担という課題を解決するために、医工連携・産学連携の強みを活かし、全く新しい発想で開発されたのが身につけて歩ける椅子「archelis (アルケリス)」です。

共同開発パートナー



自治医科大学
メディカルシミュレーションセンター長
教授

川平 洋 博士(医学)

兼務／自治医科大学附属病院
消化器センター・外科部門

Hiroshi Kawahira

鉗子(かんし)の先端数ミリでの動作が求められる腹腔鏡下手術では「体幹の安定」が手術の安定性に大きく影響を及ぼします。長時間の中腰姿勢でも筋肉に負担を与えずに「歩く・座る」を繰り返すことが可能なarchelisによって、術中の安定動作の向上が実現できると考えます。さらに医療従事者が抱える特殊な環境での中腰姿勢をサポートできる器具として、可能性を感じています。



東京医科歯科大学
生体材料工学研究所
生体機能修復研究部門
バイオデザイン分野
教授

中村 亮一 博士(工学)

Ryoichi Nakamura

膝の角度を固定し脛と大腿部の広い面積で分散して体重を支えることで、疲労軽減と安定した姿勢保持を実現しています。また、片足ずつ独立したセパレート設計により、姿勢に合わせて自由なスタンスで座ることができます。archelisは、新しい市場の創造に繋がる「装着型下肢支持用具」として、日本工業標準調査会(JISC)より経済産業省の「新市場創造型標準化制度」の活用対象に選定されました(2018年)。今後、さまざまなシチュエーションで幅広く活用されることを期待しています。